



言語地理学における 語彙変化の再検討 —混交・民間語源・類音牽引—

混交・民間語源・類音牽引は、言語地理学が扱う語彙変化の基本である。具体的データをもとにこれらを再検討し、それぞれの関係を整理する。そのことを通して、語の形と意味がどのように言語変化と地域差・方言を生み出していくのか、地図を活用しながら要因と過程に迫る。

- ❖ Zoomによるオンライン開催 (途中入室・退室可)
- ❖ 下記参加申込フォームより事前申込必要
- ❖ 参加無料
- ❖ 使用言語：日本語

[2月18日 (木) 18:00~19:30]

※必要に応じて30分程度延長の場合あり

講演者 大西拓一郎

(国立国語研究所研究所／本学大学院国際日本学研究院 [クロスアポイントメント] 教授)

コメンテーター① 岩田 礼

(金沢大学名誉教授、公立小松大学国際文化交流学部 教授)

コメンテーター② 川口 裕司

(本学大学院総合国際学研究院 教授)



参加申込フォーム：リンク先より事前申し込みをお願い致します。
お申し込みされた方に2/17 (水) までにZoom MTG 情報をお送りします。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSch6sxRr6Ouv8CqsJbaW02bLtE-EbK39V2N0qgQacjsj0l5N_Q/viewform?usp=sf_link